ビッグブック日本語第四版の変更点

2024年11月に発行された『アルコホーリクス・アノニマス』日本語翻訳第四版の、第三版(2002年発行)からの変更点の一覧。

第三版から第四版への変更点

目次

- ビッグブック日本語第四版の変更点
 - 第三版から第四版への変更点
 - 扉
 - 日本語翻訳第四版への序文
 - 日本語翻訳第三版への序文
 - 初版に寄せて
 - 医師の意見
 - 第二章
 - 第五章
 - 第六章
 - 第七章
 - 第十章
 - 第十一章
 - ドクター・ボブの悪夢
 - 十二の伝統
 - 十二の伝統(長文のもの)
 - □□に対する宗教界の見解
 - 十二の概念(短いかたち)
 - 注記

扉

iii The Story of How Many Thousands of Men and Women Have Recovered from Alcoholism

┆ 幾万もの、実にたくさんの人びとが<mark>アルコホリズムから回復した</mark>。本書は彼らがどのように回復した のかを語るものである。

|幾万もの、実にたくさんの人びとが<mark>飲酒の問題から解放された</mark>。本書は**AAの基本テキストであり、** |彼らがどのように回復したのかを語るものである。

; 縮約版:本書は、<mark>2002年10月発行の</mark>『アルコホーリクス・アノニマス』から<mark>、12編</mark>の個人の物語を除い た縮約版である。

;縮約版:本書は、『アルコホーリクス・アノニマス』<mark>ハードカバー</mark>から個人の物語を除いた縮約版であ る。

日本語翻訳第四版への序文

viii(8)ページに<mark>「日本語翻訳第四版への序文」**が**3ページ</mark>追加され、これによりそれ以降、「医師の意見」

までのページ番号が後ろに3ページずれた。

日本語翻訳第三版への序文

-	-
viii(8)	日本語翻訳 <mark>改訂版(個人の物語付き)</mark> への序文
xi(11)	日本語翻訳 <mark>第三版</mark> への序文

初版に寄せて

	It is important that we remain anonymous because we are too few, at present
xvii(17)	現在のところ、私たちが <mark>個人名を名乗らず、無名でいることが必要なのは、私たちはまだごく 少人数であり、</mark>
xx(20)	現在のところ、私たちが無名でいる必要があるのは、私たちはまだごく少人数であり、
これによりそれ以際が1行ずれた	

医師の意見

XXVI	In our belief, any picture of the alcoholic which leaves out this physical factor is incomplete .		
	この肉体的な面を抜きにしてアルコホリズムを語ろうとするのは <mark>片手落ちだと、私たちは信じている。</mark>		
xxxvi(36)	この肉体的な面を抜きにしてアルコホリズムを語ることは <mark>不十分であると、私たちは信じている。</mark>		
xxvii	They believe in themselves, and still more in the Power which pulls chronic alcoholics back from the gates of death.		
xxxiv(34)	Iくれる一つの月かめることを <mark>秋長</mark> 信している。		
xxxvii(37)	彼らは自分たち自身を <mark>信じ</mark> 、そしてそれ以上に、アルコホーリクを死の門から連れ戻してくれる一つの力があることを信じている。		

第二章

- 28 The distinguished American psychologist, William James,
- 42 著名なアメリカ人心理学者のウィリアム・<mark>ジェイムス</mark>は
- 42 著名なアメリカ人心理学者のウィリアム・ジェームズは



「霊的体験」ではジェイムスのまま

第五章

- 58 Their chances are less than average.
- 84回復する<mark>率が平均までいかない</mark>人たちである。
- 84 回復する<mark>可能性**が**平均より低い</mark>人たちである。
- There are those, too, who suffer from grave emotional and mental disorders, but many of them do recover if they have the capacity to be honest.
- | ₈₄| また<mark>情緒に障害があったり、精神が病んでいる</mark>人もいるが、自分に正直になる<mark>能力**さえあれば**、彼らも**ほとんど**回復する。</mark>
- | また<mark>、深刻な情緒や精神の障害に苦しんでいる</mark>人もいるが、自分に正直になる<mark>ことができれば</mark>、彼 | らの多**くが**回復する。

- Our stories disclose in a general way what we used to be like, what happened, and what we are like now.
- | ₈₄| 私たちは、自分たちが<mark>いつもどんなふうだった</mark>か、<mark>そして</mark>何が起こっ<mark>て</mark>、いま<mark>どうなっている</mark>のか、 | おおよそのところを<mark>はっきりさせる</mark>[
- |₈₄||私たち<mark>の物語</mark>は、自分たちが<mark>かつてどのようであった</mark>か、何が起こっ<mark>たか□そして</mark>いま<mark>どのようであ</mark> |<mark>る</mark>のか、おおよそのところを<mark>明らかにするものである</mark>□
- With all the earnestness at our command, we beg of you to be **fearless** and thorough from the very start.
- 85 最初から<mark>思い切って、</mark>徹底してやるように、私たちは心からお願いしたい。
- |85||最初から、<mark>恐れずに</mark>徹底してやるように、私たちは心からお願いしたい。
- 59 We asked His protection and care with complete abandon.
- |86||私たちは<mark>思**いきって**神に保護と配慮を願った。</mark>
- 86 私たちはなんの条件も付けずに、神の保護と配慮を求めた。
- 59 1. We admitted we were powerless over alcohol-that our lives had become unmanageable.
- |86||一||私たちはアルコールに対し無力であり、<mark>思い通りに生きていけなくなっていた</mark>ことを認めた。
- 86 私たちはアルコールに対し無力であり、人生**が手に負えなくなっていた**ことを認めた。
- 62 Whatever our protestations, are not most of us concerned with ourselves, our resentments, or our self-pity?
- | <mark>どう言い訳をしてみたところで</mark>、つまりは私たちのほとんどは、恨み<mark>と、自分**をかわいそうだと**思</mark>| | **うこと**にかかりつきりになってい<mark>た</mark>のではないだろうか。
- |₈₉|<mark>どんな言い分があるにせよ</mark>、つまりは私たちのほとんどが、恨み<mark>や自己れんびん、自分自身のこと</mark> |にかかりつきりになってい<mark>る</mark>のではないだろうか。
- 62 So our troubles, we think, are basically of our own making.
- 90|私たちの問題は<mark>実**は**全部</mark>自分で招いた<mark>結果</mark>なのである。
- 90 <mark>思うに、</mark>私たちの問題は、<mark>基本的に</mark>自分で招いた<mark>もの</mark>なのである。
- and the alcoholic is an extreme example of self-will run riot, though he usually doesn't think so.
- 90 <mark>気がついてはいないが</mark>、アルコホーリク<mark>の行動は頑固な自我による極端な暴走にすぎない</mark>□
- 90 <mark>自分ではそう思っていないことがほとんどだが</mark>、アルコホーリク<mark>というのは自我が暴走している人</mark> <mark>の極端な例なのだ</mark>□
- 62 Above everything, we alcoholics must be rid of this selfishness.
- |90||私たちは何よりもまず、この<mark>頑固な</mark>自分本位の考えを捨て去らなければならない。
- 90 私たちは何よりもまず、この自分本位の考えを捨て去らなければならない。
- 64-65 self-esteem
- 93-95 自己評価

93-95 自尊心

!

7ヵ所ある

- 65 <mark>pride</mark>
- 95 高慢
- 95 プライド
- 69 who think that most of the troubles of the race are traceable to **sex** causes.
- 100人間のもめごとの大半は<mark>セックス</mark>に起因するという者もいる。
- 100人間のもめごとの大半は性に起因するという者もいる。
- 69 They think we do not have enough of it, or that it isn't the right kind.
- 100 十分にセックスを得られていないとか、正常なセックスをしていないとか、
- 100 <mark>セックスを十分に得られていない</mark>とか、望みどおりのものではないとか、
- 69 and the other would have us all on a straight pepper diet.
- |100|とことん<mark>セックスを</mark>楽しむべきだという意見の人もいる。

- 100とことん楽しむべきだという意見の人もいる。
- 69 In this way we tried to shape a sane and sound ideal for our future sex life.
- 101 こうして私たちは今後の<mark>、**まともで**健全な性生活をつくり上げようとした。</mark>
- 101 こうして私たちは今後の健全な性生活の理想を描こうとした。
- 71 an inventory of your **grosser** handicaps
- 103 自分の膨大な欠点の棚卸表
- 103 自分のひどい欠点の棚卸表

第六章

- He felt that he had done a wrong he could not possibly make right. If he opened that old affair, he was afraid it would destroy the reputation of his partner, disgrace his family and take away his means of livelihood.
- 確かに自分は誤ったことをしでかしてしまったが、こればかりは決してあからさまにはできないと 115 <mark>彼は思った。</mark>もし<mark>この古傷を開いたら</mark>、いまの仕事の相棒の評判を落とし、家族に汚名を着せ、生 計の手段**も失ってしまうだろう**□
- <mark>彼は、自分が犯した過ちを決して正せないと思った。</mark>もし<mark>このことを明らかにしたら</mark>、いまの仕事 の相棒の評判を落とし、<mark>彼の</mark>家族に汚名を着せ、生計の手段<mark>さえも奪ってしまうのではないかと恐</mark> れた□
- He is like the farmer who came up out of his cyclone cellar to find his home ruined. To his wife, he remarked, "Don't see anything the matter here, Ma. Ain't it grand the wind stopped blowin'?"
- 119 <mark>竜巻</mark>のあと、避難用の地下室から出てきた農民が、自分の家がめちゃめちゃになっているのに、 「<mark>無事でよかったなあ、母ちゃん。竜巻がやんだんだから</mark>」と言っているようなものだ。
- 119 <mark>嵐</mark>のあと、避難用の地下室から出てきた農民が、自分の家がめちゃめちゃになっているのに、「<mark>な</mark>んの問題もねぇみたいだな、かあちゃん。風もやんでなによりだ</mark>」と言っているようなものだ。
- 83 We should be sensible, tactful, considerate and humble without being servile or scraping.
- 120 私たちは**へつらったり、争ったりせず**、分別を持って、機転を利かせ、思慮深く、謙虚に行動すべきだ。
- 120 私たちは<mark>卑屈になったり尻込みしたりすることなく</mark>、分別を持って、機転を利かせ、思慮深く、謙虚に行動すべきだ。



これによりそれ以降が1行ずれた。

- 84 Our next function is to grow in understanding and effectiveness.
- 121 次の課題は**よりよく理解し、より一層役に立つ人間に成長する**ことである。
- 121 次の課題は<mark>、理解を深め、より効果的に実践する</mark>ことである。
- 85 | We have begun to develop this vital sixth sense.
- 123 大切な直感を発達させ始めているのだ。
- 123 **この極めて重要な第六感を伸ばし**始めている。
- 86 Yet, we believe we can make some definite and valuable suggestions.
- 123だが、実は私たちは幾つかの決定的で、貴重な提案ができると思う。
- 123だが、実は私たちは幾つかの具体的で価値ある提案ができると思う。

第七章

- 91 See your man alone, if possible.
- 131 彼には、できれば一人<mark>で</mark>会う。
- 131 できれば<mark>□彼**が**一人**のときに**会う。</mark>
- 98 Burn the idea into the consciousness of every man that he can get well regardless of **anyone**.

- 142 どんな人であっても回復できるのだということを、一人一人の意識に焼きつけよう。
- 142 どんな<mark>境遇</mark>であっても回復できるのだということを、一人一人の意識に焼きつけよう。
- 102 Or am I expecting to steal a little vicarious pleasure from the atmosphere of such places?
- | それともその場の雰囲気から、<mark>少しばかり代償としての楽しみをこっそりかすめ取ろう</mark>としている | のではないか
- |147||それともその場の雰囲気から、<mark>少しでも酔いの気分を味わおう</mark>としているのではないか

第十章

- 136 I was at one time **assistant manager of a corporation department** employing sixty-six hundred men.
- 198|私はかつて、六千六百人の従業員をかかえる企業の副社長をしていた。
- 198 私はかつて、六千六百人の従業員をかかえる企業の<mark>管理部門**で**副部長</mark>をしていた。
- If he feels free to discuss his problems with you, if he knows you understand and will not be upset by anything he wishes to say, he will probably be off to a fast start.
- 210 もし彼が自分の問題について<mark>何でも自由に</mark>話せるようなら、<mark>また問題を理解しているあなたが、彼が何を言ってもうろたえないことを見て取れば、彼はおそらく順調に回復に入れるだろう。</mark>
- 210 もし彼が自分の問題について<mark>抵抗なくあなたと</mark>話せるなら、<mark>そして、何を話してもあなたが</mark>理解し、 動揺しないことが分かれば、おそらく彼の回復はすぐに軌道に乗るだろう。
- 147 These juniors are often in a difficult position. Men under them are frequently their friends.
- 中間管理職の人たちは、むずかしい立場に<mark>置かれていることが多い□彼らの部下は、多くの場合飲</mark> <mark>み仲間</mark>でもある。
- 中間管理職の人たちは、むずかしい立場に<mark>置かれることがよくある</mark>□多**くの場合、彼らは部下と友** <mark>人</mark>でもある。
- So, for one reason or another, they cover **these men**, hoping matters will take a turn for the better. They often jeopardize their own positions by trying to help **serious drinkers** who should have been fired long ago, or else given an opportunity to get well.
- だからあれこれの理由で、状況がよくなることを願いつつ、<mark>彼ら</mark>をかばう。本来ならずっと以前に 214 首か、さもなければ回復のチャンスを与えられるはずだった<mark>仲間</mark>を、自分の首をかけてかばうこと もある。
- だからあれこれの理由で、状況がよくなることを願いつつ、<mark>部下</mark>をかばう。本来ならずっと以前に 214 首か、さもなければ回復のチャンスを与えられるはずだった<mark>問題**の**酒飲み</mark>を、自分の首をかけてか ばうこともある。

第十一章

- Some of us sought out **sordid places**, hoping to find understanding **companionship** and approval.
- 220 私たちの中には、理解し、認めてくれる<mark>仲間</mark>を求めて、<mark>金目当ての遊び場のような所にまで行った</mark>者もいる。
- | 220||私たちの中には、理解し、認めてくれる<mark>相手</mark>を求めて、<mark>いかがわしい場所に通った</mark>者もいる。
- 151 Momentarily we did then would come oblivion and ...
- |220||だが一時的に<mark>得られたその仲間からもすぐに忘れられた</mark>||
- | 220||だが一時的に<mark>相手を見つけられても、結局は酔いつぶれてしまう。</mark>
- 160 Outsiders became interested.
- 233 <mark>直接飲酒とは関係のない人たち</mark>も関心を持つようになった。
- 233 <mark>外部**の人たち**も関心を持つようになった。</mark>

ドクター・ポブの悪夢

174 I had some money, all the time in the world, and considerable stomach trouble.

- 245 私には何がしかの金があった<mark>。私**はいつだって金があったのだ**が、<mark>しょっちゅう</mark>胃の具合<mark>が</mark>悪かった。</mark>
- 245 私には何がしかの金があった<mark>し、時間はいくらでもあった</mark>が、胃の具合は<mark>かなり</mark>悪かった。

十二の伝統

562	Two - For our group purpose there is but one ultimate authority-a loving God as He may express Himself in our group conscience. Our leaders are but trusted servants; they do not govern.
258/562	二 私たちのグループの目的のための最高の権威はただ一つ、グループの良心のなかに自分を現される、愛の神である。私たちのリーダーは <mark>奉仕を任された</mark> しもべであって、支配はしない。
258/562	二 私たちのグループの目的のための最高の権威はただ一つ、グループの良心のなかに自分を 現される、愛の神である。私たちのリーダーは <mark>信頼された</mark> しもべであって、支配はしない。
563	Eight - Alcoholics Anonymous should remain forever nonprofessional, but our service centers may employ special workers .
259/563	ハ アルコホーリクス・アノニマスは、あくまでも職業化されずアマチュアでなければならない。ただ、サービスセンターのようなところでは、専従の職員を雇うことができる。
259/563	ハ アルコホーリクス・アノニマスは、あくまでも職業化されずアマチュアでなければならない。ただ、サービスセンターのようなところでは、業務に従事する人を雇うことができる。
563	Eleven - Our public relations policy is based on attraction rather than promotion; we need always maintain personal anonymity at the level of press, radio and films.
259/563	十一 私たちの広報活動は、宣伝よりもひきつける魅力に基づくものであり、 <mark>活字、電波、映像の分野では</mark> 、私たちはつねに個人名を伏せる必要がある。
259/563	十一 私たちの広報活動は、宣伝よりもひきつける魅力に基づくものであり、 <mark>公のレベルでの</mark> 文字、音声、映像においては、私たちはつねに個人名を伏せる必要がある。

十二の伝統(長文のもの)

伝統6

564	Secondary aids to A.A., such as clubs or hospitals which require much property or administration, ought to be incorporated and so set apart that, if necessary, they can be freely discarded by the groups.
261/565	また□□メンバーの回復の助けになるクラブや病院などは、多くの資産や管理が必要であるため、別個の組織として設立し、必要ならばグループがいつでも <mark>処分できるようにすべきである。</mark>
261/565	また□□メンバーの回復の助けになるクラブや病院などは、多くの資産や管理が必要であるため、別個の組織として設立し、必要ならばグループがいつでも <mark>協力関係を手放せる</mark> ようにすべきである。

伝統9

565	The trustees of the General Service Board are, in effect, our A.A. General Service Committee.
263/567	常任理事会の常任理事は事実上□□□の <mark>全体サービス</mark> の委員である。
263/567	常任理事会の常任理事は事実上[[[[]]]の <mark>ゼネラルサービス</mark> の委員である。
565	by which we maintain our A.A. General Service Office at New York.
263/567	ニューヨークにある私たちの <mark>□□□</mark> はこの献金によって維持されている。
263/567	ニューヨークにある私たちの <mark>ゼネラルサービス・オフィス</mark> はこの献金によって維持されている。
	They are authorized by the groups to handle our over-all public relations and they guarantee the integrity of our principal newspaper, the A.A. Grapevine.

263/567	<mark>□□□</mark> は□□全体の広報活動を行う権限をグループ <mark>に</mark> 託され、私たちにとって大切な機関誌「グレープバイン」が <mark>本来のかたちで発行されるよう</mark> 監修 する □
263/567	<mark>常任理事会は□□全体の広報活動を行う権限をグループ<mark>から</mark>託され、私たちにとって大切な機関誌「グレープバイン」が<mark>□□の原理に忠実であるよう保証する</mark>□</mark>

伝統11

565	Our relations with the general public should be characterized by personal anonymity.	
264/568	私たちの広報活動の特徴は、個人 <mark>名を伏せた</mark> 無名性にある。	
264/568	私たちの広報活動の特徴は、個人 <mark>の</mark> 無名性にある。	
	Our names and pictures as A.A. members ought not be broadcast, filmed, or publicly	y
	printed.	
264/568	- □□メンバーとして <mark>名前</mark> や写真を、 <mark>電波、映像、活字に</mark> のせるべきではない。	
264/568		(き

伝統12

505	It reminds us that we are to place principles before personalities; that we are actually to practice a genuine humility.
264/568	それは個人よりも原理が優先していること、本物の <mark>謙遜</mark> が実行されなくてはならないことを、 いつも私たちの心にとどめてくれる。
264/568	それは個人よりも原理が優先していること、本物の <mark>謙虚さ</mark> が実行されなくてはならないことを、 いつも私たちの心にとどめてくれる。

□□に対する宗教界の見解

		natural; it is natural at the point where nature comes closest to humiliations and in consequent humility.
273/577	アルコホーリクス・アノニマ すなわち屈辱と、それに続く	アスは自然だ。それは自然が最も超自然と接近するところにおいて、 く <mark>謙遜</mark> にいたるところにおいて自然である。
273/577	アルコホーリクス・アノニマ すなわち屈辱と、それに続く	アスは自然だ。それは自然が最も超自然と接近するところにおいて、 く <mark>謙虚</mark> にいたるところにおいて自然である。
572	The Episcopal magazine	
273/577	<mark>監督派教会</mark> の雑誌	
273/577	聖公会の雑誌	

十二の概念(短いかたち)

	I. Final responsibility and ultimate authority for A.A. world services should always reside in the collective conscience of our whole Fellowship.
277/581	の集合的艮心に帰属9へさじめる。
277/581	ー□□□のワールド・サービスのための最終的責任と究極の権威は、常に <mark>私たち</mark> の共同体全体の 集合的良心に帰属すべきである。
5/4	II. The General Service Conference of A.A. has become, for nearly every practical purpose, the active voice and the effective conscience of our whole Society in its world affairs .
	ニ□□□の評議会は、ほぼ実際上、その世界的な <mark>ことがら</mark> において共同体全体の積極的な声であり事実上の良心となっている。
277/581	ニ□□□の評議会は、ほぼ実際上、その世界的な <mark>事柄</mark> において共同体全体の積極的な声であり事実上の良心となっている。

574	V. Throughout our structure, a traditional "Right of Appeal" ought to prevail, so that minority opinion will be heard and personal grievances receive careful consideration.
278/582	五[] <mark>われわれ</mark> の機構全体を通じて、少数意見が聴かれ、個人的苦情が慎重に考慮されるよう、 伝統的な「アピール権」が行き渡っていなければならない。
278/582	五□ <mark>私たち</mark> の機構全体を通じて、少数意見が聴かれ、個人的苦情が慎重に考慮されるよう、伝 統的な「アピール権」が行き渡っていなければならない。
575	IX. Good service leadership at all levels is indispensable for our future functioning and safety. Primary world service leadership, once exercised by the founders, must necessarily be assumed by the trustees .
	九 良いサービス・リーダーは、 <mark>われわれ</mark> の将来の機能と安全のために、すべてのレベルで <mark>欠くべからざる</mark> ものである。かつて□□の創始者たちによって実践された <mark>最初の</mark> ワールド・サービスのリーダーシップは、アルコホーリクス・アノニマスの常任理事によって、必ず引き継がれなければならない。
279/583	九 良いサービス・リーダーは、 <mark>私たち</mark> の将来の機能と安全のために、すべてのレベルで <mark>欠かせない</mark> ものである。かつて□□の創始者たちによって実践されたワールド・サービスにおける 主要なリーダーシップは、アルコホーリクス・アノニマスの <mark>常任理事会</mark> 常任理事によって、必 ず引き継がれなければならない。

注記

- 「謙虚」 「謙遜」は「謙虚(さ)」に統一された。
- 「ことがら」は「事柄」へ変更された。
- 12の概念に残っていた「われわれ」は「私たち」に変更された。

From:

http://www.ieji.org/wiki/ - 心の家路

Permanent link:

http://www.ieji.org/wiki/books/study/bb-japanese-4th-revision

Last update: 2025/01/11

